

知の技法をめぐる新春対談 —学術スキルから思考のアートへ—



片山 杜秀 法学部教授
若澤 佑典 文学部准教授
×



爆弾のような問い合わせから、新たな年の「知の航海」を始めてみたいと思います。アカデミック・スキルズとは、論文作法を教えることが「すべて」なのでしょうか？例えば、翻訳や書評、ブックトークや辞書愛好、編集や創作、冒険の記録や風景の撮影、朗読や演劇パフォーマンス、書籍涉獵や本棚作りなど、論文執筆そのものではないけれど、思考の始まり、知の原風景に関わる動きが、私たちの日常には溢れています。

若澤と片山が担当する木曜2限「アカデミック・スキルズ」クラスでは、「クリティカル」から「クリエイティブ」への動きを主眼に、「考える」と「一緒につくる」ことを連携して活動してきました。その足跡を対談形式で振り返り、履修メンバーも加わり、各学生の制作成果も共有します。クラス参観のような気分で、学生から教員の皆様まで、さまざまな方の来場をお待ちしております！

日時：2月6日（金）16:15～17:45（途中入退室可・予約不要）

場所：日吉キャンパス来往舎1F シンポジウムスペース

対象：塾生・教職員

学生から教員の皆様まで、さまざまな方の来場をお待ちしております！